

大作戦シリーズ第4弾! 認め合い、支えあう「ふくしの心」を育てよう!

# 「みんなでふくし大作戦!」

詳細 社会福祉課 ☎32-6356 <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/> でみんなでふくし大作戦! 検索

「みんなでふくし大作戦!」はまちぐるみで福祉に取り組むことを目指します!

## 「みんなでふくし大作戦!」がスタートしました!!

平成22年11月26日に市役所 9階会議室において、「みんなでふくし大作戦!」第1回推進会議・スタート宣言集会在開催され、大作戦がスタートしました!!

事務局から大作戦の主な事業(案)についての説明のあと、推進委員を代表して苫小牧市山手地域包括支援センターの大沢貢平さんから、推進委員として積極的に協力していくことの協力宣言をいただき、この宣言を受けて、市長から「みんなでふくし大作戦!」のスタート宣言を行いました。

### ▶▶みんなでふくし大作戦! 協力宣言◀◀

少子高齢社会を背景として、地域活力やコミュニティ機能が低下傾向にあり、地域や家庭のあり様も変化してきています。住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らしていくために、認め合い、支えあう「ふくしの心」を育て、みんなのあたたかい心でまちをつつむため苫小牧市が実施する「みんなでふくし大作戦!」に推進委員として積極的に協力していくことをここに宣言します!



協力宣言を行う山手地域包括支援センター大沢さん

### ▶▶みんなでふくし大作戦! スタート宣言◀◀

ただいまより、「みんなでふくし大作戦!」のスタートをここに宣言します。皆さん一緒に頑張りましょう!



スタート宣言を行う岩倉市長

今後はあいさつ・声かけ運動をはじめとするさまざまな大作戦事業を展開していきます!

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年6月に行われた市長選挙におきまして、皆様のご支持とご支援を賜り引き続き市長の重責を担うことになりました。本年も寄せられた期待にしっかりと応えし、課題に向けた取り組みを一層進めてまいります。

昨年は、市発展の礎であります王子製紙苫小牧工場が創業100周年を迎えた記念すべき年であるとともに、錦岡児童センター、沼ノ端スポーツセンターという新しい施設のオープン、日中韓三カ国環境大臣会合の開催、道の駅ウトナイ湖が9月に来館100万人を達成するなどのニュースや、苫小牧東高校を卒業された北大の鈴木章名誉教授が、ノーベル化学賞を受賞するという大変喜ばしい出来事もありました。

本市の原動力である苫小牧港では、新たな外貿定期航路が開港され、4月には東港国際コンテナターミナルの岸壁整備により、2隻同時着岸が可能となったほか、西港には帆船「日本丸」や、クルーズ客船が入港しました。本年も国際物流ネットワーク機能の高度化とともに、大型客船誘致などにより、市民に親しまれる港の魅力づくりに取り組んでまいります。

市政においては、「財政健全化計画」、「行政改革プラン」、「実施計画」の3つの計画を新たに作成しました。安定した財政運営実現のため、財政健全化を最重要課題として引き続き取り組むとともに、効率的で機能的な行政を目指す

すため、行政改革にスピード感を持って取り組んでまいります。

「市政の重要テーマ」として、まちぐるみで取り組む大作戦シリーズについては、「みんなでふくし大作戦!」を本格的に展開してまいります。住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らしていくよう、認め合い、支えあう「ふくしの心」を育てるため、皆様のご理解とご協力をいただき、大きな運動の輪に広げたいと考えております。

さらに、「まちなか再生総合プロジェクト(CAP)」に基づくまちづくりの推進、地球温暖化対策である「CS」・CO2の回収・貯留技術)実証試験の誘致、第24小学校の建設に向けた設計着手など、さまざまな取り組みを進めてまいります。

本市を活力のあるたくましいまちにするため、苫小牧港と新千歳空港というダブルポートを有する、物流の拠点都市である本市の優位性を最大限活用し、さらなる経済基盤の充実と地域経済の活性化に努めてまいります。

本年も市政へのご支援とご協力をお願いいたしますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



苫小牧市長 岩倉 博文

## 平成23年 新年を迎えて

市長・市議会議長新年あいさつ

### 市議会議長新年あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと市議会を代表し、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は鳩山政権から菅政権への移行があった中で尖閣諸島沖や北方領土では中国やロシアとの外交問題が起り、また農産物の輸入自由化をめくつてのTPP加盟問題が大きな動きとして本道を揺さぶりました。

一方、非常にうれしいニュースとして、むかわ町出身で苫小牧東高校を卒業された北海道大学名誉教授の鈴木章さんがノーベル化学賞を受賞され、わが苫小牧はもう一人日本中が喜びに沸いたのも記憶に新しいところです。

さて、本市におきましては、昨年はイトーヨーカ堂や長崎屋苫小牧店が閉店するなど残念なニュースが飛び交う中、王子製紙苫小牧工場が創業100周年を迎え、絵画展や講演会、工場見学会などさまざまなイベントが行われ、市民と共に100年の歩みをお祝いさせていただきました。

また、さまざまな工場で発生する二酸化炭素を地中に埋め地球温暖化対策に役立つといわれる技術「CCS」の実証実験誘致が始まり、調査用の井戸がすでに完成するなど地元への経済波及効果が期待される工事が順調に進んでおります。



苫小牧市議会議長 柳谷 昭次郎

一方、本道の社会経済情勢に目を転じますと、景気回復には未だ厳しい状況にあり、本市においても幅広い視点に立った行政運営の構築や、地域の特性を生かした活性化づくりが喫緊の課題となっております。

まさに私ども地方議会にとりましても自治体の無駄を監視する本来の役目を改めて確認しながら、自ら議会改革を進め、住民の行政参加を推し進めることが重要であり、若い世代の生きがいとやりがいを持つてゆく今後のまちづくりに力を注いでゆく所存でございます。

本年は、議会としては4年に一度の改選期を迎えることとなりますが、市民生活に密着した行政課題は山積しております。その中でも、依然として厳しい財政状況と景気動向ではあります、市民の皆様への負託にこたえることができるよう、最大限の努力をしたいと思います。ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

## 行政改革ってなに?

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/> で行革 検索 詳細 行政改革推進室 ☎32-6169

現在、市では行政改革に取り組んでいます。行政改革とは「市役所を改革する」ことですが、どのような改革をするのでしょうか?行政改革についてシリーズでお知らせします。

### 第4回 これからの行政改革

市では行政改革をさらに進めるため、これからの行政改革の課題を踏まえ、平成22年9月に新しい行政改革推進計画である「苫小牧市行政改革プラン」を策定しました。

#### ● これまでの行政改革

厳しい財政状況から量的削減を中心とした取り組みを実施

→

財政健全化に一定の効果

今後の方向性は?

#### ● これからの行政改革

財政健全化に向けて継続した取り組みが必要であるとともに、量的削減による市民サービスの低下を招かないような配慮が必要。

#### 今後の行政改革のあり方における課題

- ① 時代や市民ニーズなどの変化に対応した事務事業の効率的かつ効果的な実施
- ② 行政サービスの向上に民間活力を導入するなど、行政以外の担い手の活用を検討
- ③ 市民ニーズの多様化や厳しい財政状況から、公共施設の今後のあり方を検討
- ④ 今後も続く厳しい財政状況から、財政健全化に向けた継続した取り組みの実施
- ⑤ 平成27年度まで続く職員の大量定年退職を考慮した今後の組織運営と人材育成の検討
- ⑥ 地方分権、地域主権の流れに即した行政運営と市民との協働体制の構築

この課題を踏まえて

苫小牧市行政改革プランを策定